

# 医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室

☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

## 電子カルテを更新しました

平成 27 年 1 月より、置賜広域病院組合において新電子カルテが稼働しました。

電子カルテ更新に伴い、置賜地域医療情報ネットワークシステム「OKI-net」に医師記録等の公開をスタートしております。

特集:

電子カルテを  
更新しました ……1

「尾道方式」退院調整  
の御案内……2～3

医療連携・相談室  
からのお知らせ  
……4



2015/03/16 10:26 診察記事

S	痛みはそれほどなし。痛みと言うよりは違和感・気になる感じ。 食事摂れている。
O	口腔咽頭・咽頭後壁、両扁桃に明らかな発赤・腫脹・白苔附着無し。 ファイバー：右披裂喉頭蓋ひだ付近の潰瘍は潰瘍底の白苔附着とその周囲の軽度腫脹のみ。白苔も徐々に薄くなってきている印象。 声門はみえる。声帯運動制限なし。
A	著変無し
P	本日までDIVあり。 生検は退院後になるか。

★総合病院、サテライトへ御紹介された患者さんの近況把握

★総合病院、サテライト退院後、貴院受診前確認

など御活用下さい

### 「尾道方式」退院調整の御案内

去る1月30日(金)に医療連携・相談室が事務局を運用しております置賜地域医療情報ネットワーク協議会の事業として「尾道方式」で有名な尾道市立市民病院を視察して参りました。一部ではありますが御報告をさせていただきます。

#### 尾道市の概要

##### ◆人口◆

140,000 人強

##### ◆高齢化率◆

32.5%

うち6割がひとり暮らし or 高齢者のみ世帯

##### ◆病院へのアクセス◆

大半が山地で平地に乏しい地域であるため、人家が救急車の入れない小路の先に建っている場合も多い

ちなみに...

置賜二次医療圏では  
人口 220,000 人強  
高齢化率 28.1%



#### 尾道方式地域連携

キーワードは「つなぐ」

～ 「競争」から「共存・協力」そして「協働」へ～

尾道方式の大きな特徴は、退院調整会議、退院時のケアカンファレンス（以下CC）になっています。患者さんを取り巻く病院・在宅医療従事者が一堂に会し、患者さんや御家族を前に入院時の経過やケアサービスプランの確認を行うものです。

##### 【参加者】

院内

（地域医療連携室で参加依頼調整を行う）

担当医、病棟看護師、透析看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ、社会福祉士 etc

院外

（ケアマネージャーが参加依頼調整を行う）

在宅医師、歯科医師、訪問看護師、ヘルパー、ケアマネージャー、施設関係者 etc

##### 【ポイント】

- ①連携室で資料を、ケアマネがケアプランを事前に作成する
- ②医師参加開催時間は **15分**
- ③「依存」から「自立」をめざす



尾道薬剤師会 HP より

## ⇒ 「患者」から「日常生活者」へ 移行するための情報共有と 治療・ケアの連続性を保証する

### なぜ医師参加型が根付いたか

#### ◆ 医師会長の強力なリーダーシップがあった ◆

- ・前尾道市医師会長 片山 壽氏を中心に「尾道市医師会基本コンセプト 1994」を策定  
⇒ 最重点は「主治医(かかりつけ医)機能」の強化
- ・片山前会長より医師会員へ「訪問診療が可能な医師」の挙手を求め**6割の医師が挙手**

#### ◆ 患者/家族のために 15 分を捻出する熱意 ◆

- ・各医院での診察業務をしながら、各医療機関へ所要時間も含め 1時間とすることで、病院の CC に参加を可能とした

#### ◆ 患者/家族の満足感を肌で感じることができる ◆

- ・病院を退院するとしても、自分を取り巻く医療従事者が一堂に会し、直接話をするということに安心感・満足感を患者・家族は強く感じている  
⇒ 医療従事者側も連携に関する手ごたえと充実感を得ることができる



### 在宅でのケアカンファレンス

#### ◆ 小手術は在宅で実施 ◆

- ・褥瘡切開、ドレナージなどの小手術は患者負担も考え在宅で実施している  
終末期や緩和ケア（持続麻酔注射）も行われ、在宅で家族に囲まれ生活できるようフォローアップをしている

#### ◆ 在宅での CC ◆

- ・治療の際は、開業医の外科・耳鼻科・歯科医師などが集まって治療の CC や処置を行います。直接治療に関係なくとも、光源を持ってくる歯科医師もいるとのこと  
⇒ 入院をしないとダメという考え覆す

#### 置賜地域の課題として

- ・在宅医療体制推進の組織づくり
- ・二次医療圏内の在宅サービスの確保と有効利用
- ・距離を克服できる情報共有ツールの構築

が必要と感じた視察でした。

公立置賜総合病院

〒992-0601  
山形県東置賜郡川西町  
大字西大塚 2000 番地TEL:  
0238-46-5000予約センターTEL:  
0238-46-5700FAX:  
0238-46-5722E-MAIL:  
renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念

心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院組合  
公立置賜総合病院  
www.okitama-hp.or.jp

## NEWS

平成 27 年度より、呼吸器  
外科専門医が 1 名増員され、  
2 名体制となります。

また、「総合診療」を行う医師  
も配置され、ますます当院の  
病院機能を強化しております。

近日中に改めてご案内いたしま  
すので、御紹介をお願いします。

## 研修会のご案内

置賜地区大腿骨頸部骨折連携パス協議会  
「特別講演会」

日時：2015年4月22日(水) 15:00～16:30

場所：公立置賜総合病院  
2F 大研修室  
山形県東置賜郡川西町大字西大塚2000番地

## プログラム

## 「骨粗鬆症の病態と薬剤選択」

座長 公立置賜総合病院 副院長

林 雅弘 先生

演者 慶應義塾大学医学部スポーツ医学総合センター

講師 岩本 潤 先生

共催：置賜地区大腿骨地域連携パス協議会  
エーザイ株式会社

## あとがき

置賜の地の雪も融け、春も近づいてきております。  
年度も変わり、4月より新しい体制でのスタートとなり  
ますが、変わらぬ連携をよろしく願いいたします。

合言葉は「置賜はひとつ」！！

